

「国民の祝日」に込められた思いとは・・・???

No. 1

この質問に、小学校の児童に完全な回答が期待できるでしょうか。以前、月曜集会で、4月29日、5月3日、5月4日・・・と続く祝日について質問したことがあります。低学年でもわかるのは、5月5日の「こどもの日」ぐらいでした。「では、なぜ休みになるのでしょうか?」と聞くと、6年生でも答えられませんでした。ほとんどの祝日は、子どもたちにとって「学校が休める日」「会社勤めのお父さんも休みで、家族サービスをしてくれる日」ぐらいにしか考えられていないのではないのでしょうか。少し残念ですね。



さて、保護者の皆さんは、日本で「国民の祝日」と呼ばれている日が1年間に何日あるかご存知ですか。平成26年に、新しい祝日として、8月11日を『山の日』と制定し平成28年に施行されたことで、現在は16日となっています。何月何日が何の日で、それぞれにどんな由来、どんな意義・目的があるのか、意外に知らない方も多いのではないのでしょうか。



- ◇ 『元日』 …………… 1月1日 ※2021年以降
「年のはじめを祝う」
- ◇ 『成人の日』 …………… 1月の第2月曜日 2月11日
「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝う」
- ◇ 『建国記念の日』 …… 政令で定める日 建国記念日
「建国をしのび、国を愛する心を養う」
- ◇ 『天皇誕生日』 …… 2月23日
「天皇の誕生日を祝う」
- ◇ 『春分の日』 …………… 春分日
「自然をたたえ、生物をいつくしむ」
- ◇ 『昭和の日』 …………… 4月29日
「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」
- ◇ 『憲法記念日』 …………… 5月3日
「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」
- ◇ 『みどりの日』 …………… 5月4日
「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心を育む」

※ 2020年は、「東京オリンピック」が開催されるため、祝日の日付が一部変更されます。